

○お詫びと訂正○

ハートナーシング 35 巻 11 月号におきまして、下記の内容に誤りがございました。著者ならびに関係者の皆さま、読者の皆さまに謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

特集『困ったシーンの会話から学ぶ！ 心疾患の病態・治療・ケア 現場で役立つキーワード集』

特集 1 p. 17 「キーワード⑥抗血小板薬をザックリいうと…」 3 行目

【誤】 ASC が強く疑われる患者さんに対して

【正】 ACS が強く疑われる患者さんに対して

特集 1 p. 18 「キーワード⑦CABG をザックリいうと…」 表 8

赤枠内：「大伏在静脈」の長所・短所と、「胃大網動脈」の長所・短所が逆になっておりました。

【誤】

表 8 使用されるグラフト

部位	名称	長所	短所
内胸動脈	ITA : internal thoracic artery (LAD につなぐことが多い)	長期開存が期待できる 有茎グラフト	両側を使用すると、縦隔炎の リスクが増加する
大伏在静脈	SVG : saphenous vein graft	有茎、動脈グラフト	開腹が必要 流量が少ない 消化器症状に注意が必要
胃大網動脈	GEA : gastroepiploic artery	採取が簡単 長さが無制限 ITA と同時に採取可能 グラフト流量が多い 内視鏡で採取できる	開存率は動脈グラフトに劣る
橈骨動脈	RA : radial artery	ITA と同時に採取可能 長期開存はよい	攣縮を起こしやすい 透析患者では使用できない

【正】

表 8 使用されるグラフト

部位	名称	長所	短所
内胸動脈	ITA : internal thoracic artery (LAD につなぐことが多い)	長期開存が期待できる 有茎グラフト	両側を使用すると、縦隔炎の リスクが増加する
大伏在静脈	SVG : saphenous vein graft	採取が簡単 長さが無制限 ITA と同時に採取可能 グラフト流量が多い 内視鏡で採取できる	開存率は動脈グラフトに劣る
胃大網動脈	GEA : gastroepiploic artery	有茎、動脈グラフト	開腹が必要 流量が少ない 消化器症状に注意が必要
橈骨動脈	RA : radial artery	ITA と同時に採取可能 長期開存はよい	攣縮を起こしやすい 透析患者では使用できない